

潘 敏
PAN Min



情報の可視化表現による ユーザーの体験向上 匂い可視化

インタラクティブ空間体験



情報の可視化表現によるユーザーの体験向上

香りの可視化

技術や工業が急速に発展し、膨大な情報が私たちに押し寄せてき来る様になった、購入する商品を選択するあたりに、感覚での実体験が必要とされてきている。

例えばオンラインショッピングの場合は、キーワード検索等の利用により購入に必要な情報を比較的容易に入手できる。しかし類似商品も多い実店舗ではそれが難いため、実店舗で必要な情報が簡単かつ効率的に入手できるようなユーザーのニーズに合った情報可視化のシステム開発が重要であると考え、本作品を制作した。

私が実店舗でのショッピングで香水売り場から香りにひき寄せられ店内の香水を選択しようとした時、商品の数があまりにも多く、全商品の香りを試すことが難しいと感じたことが、本作品を制作するきっかけに大きく影響している。

本作品は 4 つの香りを対象とし、インタラクティブな空間で香りを体験するものである。専門知識がないユーザーでも、香りの情報を速やかに効率的に取得でき、さらに香りを視覚的に体験できることを目的としている。

本作品は香り情報を直感的に体験できるインタラクティブ空間で、次の 2 つから構成される。

香水の情報を可視化

数多い情報からユーザーが知りたい対象を絞ることができるタッチテーブルの UI。香水の香りを嗅がずに、絞り込んだ香水情報により商品を選択する部分。

香水の香りの可視化

プロジェクター映像が投影される囲まれた空間。空間の一部に鏡を用い空間全体に映像が投影される。ユーザーが香水を手にとると、その香水の香りのイメージ映像が投影され、香りを視覚的に体験できる部分。

ビデオ内容については、先行研究の「香りイメージの色表現による伝達」*1 と「味覚イメージの形態表現とその形態変化が味覚イメージに与える影響についての研究！」*2 は作品の根拠である。

*「1 香りイメージの色表現による伝達」日本感性工学会研究論文集 Vol.7No.3 pp497- 503(2008) 妹尾正巳, 元永千穂

*「2 味覚イメージの形態表現とその形態変化が味覚イメージに与える影響についての研究」日本感性工学会論文誌 [早期公開記事] J-STAGE 早期公開日: 2018.08.06

橋田 規子, 大久保 優希